

令和6年度 第43回関東高等学校弓道個人選手権大会県予選会 要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 2 開催日 令和6年7月25日(木) 男子個人予選決勝
7月26日(金) 女子個人予選決勝
- 3 日程 監督会議(各校顧問) …近的射場 8時00分～
出場校受付(顧問のみ) …小会議室 監督会議終了後
開会式(代表選手1名) …近的射場 監督会議終了後
*係職員と当番校生徒は開場の準備が整い次第入場し、会場準備にあたる。(7時45分～入場予定)
*選手は8時00分以降当番校生徒入場後に入場できる。
*当番の仕事内容は、本専門部顧問必携を参照する。
- 4 会場 A L S O Kぐんま武道館弓道場(遠) 前橋市関根町800番地 電話027-234-1200
- 5 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的(ビニール製の紙)
- 6 競技種別 男子の部・女子の部
- 7 競技種類 団体戦…実施しない
個人戦…男女とも各校18名以内
- 8 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・競技運営細則による。
- 9 競技方法 3人立 4射場 立射
団体戦 実施しない
個人戦 予選…各自4射を行い2中以上を通過とする。
決勝…各自4射を行い予選との合計的中数により男子は1～13位まで、女子は1～12位までを決定する。
*計時は行わないが、間延びしないよう弦音打起しに努める。著しく遅い場合は、顧問を通して注意する。
*代表選手の本大会出場辞退があった場合のために最低でも2～3人程度追加順位を決定する。その対応の一環として、順位決定のための遠近競射が行われた場合は、競射参加者全員の順位を決定する。
*出場権のかかる順位決定は射詰めとし、それ以外は遠近(多人数の場合は複数的使用)で順位を決める。
*射詰競射は4射的が続いても結果が出ない場合は、八寸的(星的)を使用する。
- 10 競技順序 ①予選 ②決勝 ③代表権決定射詰競射 ④その他順位決定遠近競射 ⑤閉会式・表彰式
*代表権獲得校監督会議は行わず、後日連絡する。
*自分の競技が終了したら、片付けをして会場から退場する。
*立は詰めて作成する(1が大前になるとは限らない)
- 11 引率監督 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(公立学校にあっては教員とする。)
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 12 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
大会申込までに群馬県高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。
年齢は早生まれの者は18歳以下とし、それ以外の者は19歳以下とする。
出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- 13 表彰 男女ともに 個人1位 賞状・メダル・認定証・男子権澤杯-女子田中杯(持ち回り)
個人2位～5位 賞状・メダル・認定証
男子は 個人6位～13位 賞状・認定証
女子は 個人6位～12位 賞状・認定証
*昨年度個人優勝校「男・高経附」は権澤杯、「女・安総合」は田中杯の返還をする。
- 14 代表権 個人男子1位～13位、個人女子1位～12位の選手に代表権が与えられる。
辞退があった場合は次の順位の選手に代表権を繰り下げる。
*第43回関東高等学校弓道個人選手権大会
令和6年9月14日(土)～9月15日(日) 於・明治神宮至誠館第二弓道場
- 15 参加料 1人500円(当日受付に払込むこと-当日欠席であってもエントリー人数分を支払う)
- 16 申込方法 申込ファイルに入力の上、7月18日(木)16:00(期限厳守)必着で下記宛にメールする。
申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
- 17 プロ編成 7月23日(火)9:30より市立太田高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。
- 18 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。
②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。
③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。
④弓具には記名しておくことが望ましい。(忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく)
⑤碟の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手碟、小指付根押手碟、ゴム底足袋の使用は禁止する。
⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。
⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。
(制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける)
⑧介添えは監督または各校生徒とし、替矢・替弦は介添えが持って入場する。
弦切れの場合は介添えが弦を張る。弦が張れない場合は進行に申し出る。
競射で替矢を使用する際は、介添えが矢を選手の正面から渡す。渡す際に指示・激励に類する行為はしない。
的中の異議申し立ては矢取り開始前に介添えが行う。
介添えが付けられない場合、選手は替矢・替弦を招集係に渡す。
⑨服装等については顧問総会の取り決めに従うものとする。
⑩控や控室、矢取や看的待機場所での私語はしない。
⑪貴重品の管理は各自で行うこと。
⑫会場での飲食等でたごみは必ず持ち帰ること。
⑬大会当番は準備・仕事・片付けを行い、片付け終了後は大会委員長または大会副委員長に報告をする。
◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。
大会プログラム・事務連絡文書の記載、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。
※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。